

新政策 高木功介のVision

埼玉県議会議員1期目(4年間)は、お陰様を持ちまして多くの政策立案し実現して参りました(県政報告Vol.20、または高木功介公式ホームページを御参照)。政策立案の「質」と実現の「数」は他の議員の追隨を許さないと自負致しております。

次のステップに向け、引き続き「教育」「医療・福祉」「生活」の3つの柱からなる新しいVision(政策)を発表します。

これからも、高木功介を大いにご期待ください。

最先端の教育環境を整える。

子育て家庭への優待制度

安心安全の学校給食の無償化・県立施設の子供+保護者の利用無償化、修学旅行費用の補助を目指します。

STEAM教育の充実

科学技術分野の発展が加速する現代社会において、STEAM教育(科学・技術・工学・芸術・数学)は、日本の未来にとって極めて重要です。STEAM教育によって、生徒たちは科学的な思考力や問題解決能力を身につけ、次世代の技術開発に貢献できる人材を育成します。

国際教育の推進

グローバル化が進む現代社会において、国際教育が重要性を増しています。国際教育によって、言葉による交渉力、思考力、異文化理解や国際的な視野を持った人材を育成することができます。これにより、国際交流や外国人観光客の増加に対応することができ、日本の国際競争力を高めることができます。

金融教育の推進

金融教育は、個人が銀行口座を開設し、クレジットカードやローンを管理する方法を学ぶことから、投資やリスク管理の専門知識を習得する事まで、さまざまな分野をカバーしています。金融教育を受けることで、個人や企業は、適切な投資や資金管理の方法を学び、自己資金を守り、資産を増やすことができます。

「社会課題解決」教育の推進

社会課題や地域課題に取り組むことが求められる現代社会において、社会課題解決の教育は重要で、生徒たちは社会的な問題に対する理解と関心を深め、自らの力で社会や地域に貢献することができます。

働き方教育の推進

働き方改革が進む現代社会において、働き方教育が重要です。働き方教育によって、生徒たちは自己管理(Self-Management)やコミュニケーション能力、リーダーシップなど、将来の労働市場で求められる能力を身につけることができます。

4年間の実績はこちら
をご覧ください。



高木功介県政調査事務所

最先端の医療・福祉の環境を整える。

デジタル技術の活用

デジタル技術の進化によって、医療現場でも様々なテクノロジーが活用されるようになっていきます。例えば、テレヘルスや遠隔医療などは、患者の利便性を向上させるとともに、医師やメディカルスタッフの負担を軽減し、「医師の働き方改革」を実現することができます。また、人工知能やビッグデータなどの技術を活用する事で、より正確な診断や治療を行えるよう目指します。

予防医療の推進

従来の医療は、病気が発生してから治療を行うものでしたが、これからの医療は、病気を予防することが重要視されるようになっていきます。予防医療には、健康管理や健康教育などが含まれます。予防医療の重視によって、医療費の削減や患者のQOL向上が期待されます。

※QOL=Quality of life「健康的で充実した生活」のこと。

患者中心の医療の推進

デジタル技術も活用し患者のニーズや希望に合わせた医療を提供することを目指します。患者中心の医療には、医師や看護師、患者など、様々な関係者が協力する必要があります。また、患者のデータを共有することによって、医療の質を向上させることができます。

豊かな生活環境を整える。

持続可能な県都浦和

環境問題が深刻化している現在、都市は持続可能性の確保が求められています。具体的には生物多様性の保全、二酸化炭素(温室効果ガス)の排出削減や再生可能エネルギーの活用、廃棄物のリサイクルを促進します。

スマートシティ県都浦和

スマートシティとは、IoT技術やビッグデータなどを活用して、都市の運営や管理を効率化する事を指します。スマートシティの構築によって、ウォークブルシティ(歩行者にとって安全で快適な街)、交通渋滞の解消や省エネ化、都市安全の確保を目指します。

防災・減災・防衛力がある県都浦和

自然災害による被害は、都市でも発生することがあります。これからの都市には、地震や洪水・噴火(降灰)などの災害に備えた防災・減災力(強靱化)が求められます。防衛に関しても、Jアラート発出時の緊急一時避難施設の増設や訓練を更に促進します。

住民参加型の県都浦和

都市は、住民が街づくりに参画することで魅力が高まります。住民参加型の街づくりを積極的に行い、より魅力的な県都浦和を皆さんと一緒に作ります。



可能性、無限大! 埼玉県議会議員(浦和区) 高木 功介 Profile

昭和51年、埼玉県出身。私立本郷高等学校卒業。筑波大学国際総合学類卒業。筑波大学大学院博士課程人文社会科学部研究科修了。博士(国際政治経済学)取得。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了 MBA修士(経営学)取得。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程在籍中。

筑波大学研究員を経て外務省入省。国際法局、総合外交政策局に勤務。自民党埼玉県連の一般公募に合格。19670票を戴きトップ当選(埼玉県議1期目)

編著書「日本外交の150年-幕末・維新から平成まで」(出版 日本外交協会)

受賞歴 佐藤栄作賞 防衛大臣表彰 筑波大学学長表彰 他

趣味 テニス、サッカー(浦和レッズ)観戦、クラシック音楽鑑賞

座右の銘 「行くに徑に由らず」(論語「雍也」掲げ)

家族 妻(医師、都内の病院で勤務中、コロナ医療にも従事中)、母

身長 175センチ 体重 69キロ